

## 予防接種で带状疱疹を予防しませんか？

带状疱疹は80歳までに3人に一人はかかる身近な病気です。15年前と比べるとおよそ4割も増加しています。一度、带状疱疹にかかるともうかからないと思いがちですが、ウイルスは体の神経節に隠れて、復活の機会を狙っています。

### ○带状疱疹とはどのような病気でしょうか。

身体の片側に起きる強い痛みと、痛みのある部分にできる帯状の赤み、湿疹、水ぶくれが特徴です。子供のころかかったことのある「水ぼうそう」のウイルスの潜伏感染であり、体力の低下、ストレス、疲労、病気、加齢などでウイルスに対する抗体の力が弱くなったとき、神経節の神経に沿って皮膚や神経にダメージを与える病気です。

带状疱疹にかかると、抗ウイルス薬の服用によって带状疱疹自体は治りますが、後遺症として神経痛になってしまうことも多くあります。

この带状疱疹後遺症神経痛に対しては、内服薬による治療や、痛みが強い場合には局所麻酔薬による神経ブロック注射が行われることもあります。

痛みが数年続く場合、特に高齢者などではこの带状疱疹後遺症神経痛のせいで食欲不振や鬱（うつ）状態をきたすこともあります。



### ○何故、ワクチン接種で予防したほうが良いのでしょうか。

◆带状疱疹の患者様の約7割が50歳以上に発症しています。

80歳までに約3人に1人が带状疱疹にかかり、最近では若年層にも多くみられています。

◆独居である方は湿疹に気づかず、治療が遅くなってしまったり、消毒等が正しく行えず、悪化してしまう可能性があります。

◆加齢、疲労、ストレスなどが原因となって免疫力が低下し、元気だと思っていでもある日突然、带状疱疹になってしまうことがあります。

※糖尿病や膠原病、悪性腫瘍の治療中などで合併症があり免疫力低下のリスクが高い方は、何度も带状疱疹を起こす可能性があるため予防する手段を考えていく必要があります。

### ○ワクチン接種の効果はどれくらい続くのでしょうか。

最近の研究結果で、ワクチンの有効性は带状疱疹の発症、带状疱疹後遺症神経痛、どちらに対しても**6割近い効果**があるといわれています。带状疱疹の発症については、ワクチン接種から3年目までは74%、4年目では55%の効果があり、带状疱疹後遺症神経痛についても3年目までは57%、4年目以降は45%の効果があると発表されています。

## 当院では带状疱疹を予防するために、水痘ワクチン接種を行っています

接種対象年齢は50歳以上です。

1回の接種でOKです。健康保険の適用ではないので**自費診療**となります。

予防接種をしたから带状疱疹にはかからないわけではありませんが、带状疱疹にかかったとしても症状は軽く済むといわれています。

带状疱疹を予防するためには、免疫力を低下させないようにすることが大切。

注意事項は☞

- ◆食事や睡眠をきちんととる。
- ◆疲れたら休息する。
- ◆適度な運動を心がけるなど注意しましょう。



何かご相談があればスタッフまでお願いします。